

2026.2.15  
No.193

# たなぐら 議会だより



2  
ページ

定例会12月会議

18  
ページ

議員活動報告

7  
ページ

町政を問う  
一般質問

20  
ページ

議会モニター  
言わせて一言



もくじ

表紙写真  
小正月伝統行事の酉小屋  
(漆草青年酉小屋保存会)

# DX推進による一般質問 録画配信を開始

定例会  
12月会議

定例会12月会議は、12月10日から12日までの3日間の会議日程で開かれました。今回の会議から、タブレット端末を使用しての開催となり、一般質問の録画配信を開始しました。会議では、補正予算や条例の一部改正の議案などを慎重に審議し、全て全会一致で可決されました。また、最終日の12日に議長及び副議長から辞職願が提出されたため、選挙が行われ、議長に菊池忠二議員、副議長に大竹盛栄議員が当選し、新体制がスタートしました。



議長選投票の様子

副議長選開票の様子

## 正・副議長就任あいさつ



副議長  
大竹 盛栄



議長  
菊池 忠二

去る令和7年12月12日に開催された棚倉町議会定例会12月会議で、議員の推挙をいただき議長及び副議長の要職に就任させていただきました。誠に身に余る光栄でありますとともに、その任務の重さを痛感しております。職責の重要性を肝に銘じ、町当局とともに第7次棚倉町振興計画に掲げる施策実現に向け、棚倉町らしさを感じられる明るく活力に満ちた町づくりを推進する所存です。今後とも、町民の皆様のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます、就任のあいさついたします。

## お知らせ

◆議場傍聴席に、耳の不自由な方だけではなく、誰にでもわかりやすく傍聴していただけるよう、字幕表示モニターを設置しています。



◆令和8年5月に発行する議会だよりから、より多くの町民の方に議会の情報をお届けするため、広報たなぐらと合冊します。

## 建設経済常任委員会

整備課・上下水道課・産業振興課及び農業委員会の分掌に関する事項。

- |      |        |
|------|--------|
| 委員長  | 和知 裕喜  |
| 副委員長 | 薄井 喜一  |
| 委員   | 大竹 盛栄  |
| 委員   | 松本 トク子 |
| 委員   | 古市 泰久  |
| 委員   | 佐川 裕一  |
| 委員   | 須藤 俊一  |

## 総務常任委員会

総務課・税務課・地域創生課・出納室・選挙管理委員会及び監査委員の分掌に関する事項。他の委員会に属さない事項。

- |      |        |
|------|--------|
| 委員長  | 佐川 裕美  |
| 副委員長 | 沼野 将美  |
| 委員   | 大竹 盛栄  |
| 委員   | 高橋 みゆき |
| 委員   | 和知 裕喜  |
| 委員   | 古市 泰久  |
| 委員   | 藤田 智之  |
| 委員   | 須藤 俊一  |
| 委員   | 菊池 忠二  |

## 広報編集常任委員会

棚倉町議会だよりの発行に関する事項。

- |      |        |
|------|--------|
| 委員長  | 割栢 義夫  |
| 副委員長 | 松本 トク子 |
| 委員   | 小沼 勝弘  |
| 委員   | 薄井 喜一  |
| 委員   | 佐藤 喜一  |

## 白河地方広域市町村圏整備組合議員

任期：令和7年12月12日～令和9年12月31日

- |       |
|-------|
| 菊池 忠二 |
| 大竹 盛栄 |

## 東白衛生組合議員

新任の任期：令和7年12月26日～令和9年12月31日

- |           |
|-----------|
| 菊池 忠二(新任) |
| 大竹 盛栄(継続) |
| 割栢 義夫(継続) |
| 佐川 裕一(新任) |

## 各常任委員会・議会運営委員会紹介

任期 令和8年1月1日～令和9年12月31日

## 厚生文教常任委員会

健康福祉課・住民課及び教育委員会の分掌に関する事項。

- |      |        |
|------|--------|
| 委員長  | 小沼 勝弘  |
| 副委員長 | 高橋 みゆき |
| 委員   | 沼野 将美  |
| 委員   | 割栢 義夫  |
| 委員   | 藤田 智之  |
| 委員   | 佐藤 喜一  |
| 委員   | 菊池 忠二  |

## 補正予算

### ◆一般会計

2億432万円増額

#### 主な事業

##### ◎ふるさと納税推進事業費

7,635万円

ふるさと納税寄付金の増額に伴う返礼品や業務委託にかかる費用の増額。

##### ◎自立支援給付障害福祉サービス等事業費

1,960万円

サービスの利用者数や利用時間の増加に伴う費用の増額。

##### ◎道路メンテナンス補助事業費

2,467万円

地割橋補修工事費等の増額。



福岡地内の地割橋

### ◆国民健康保険特別会計

705万円増額

人件費及び一般被保険者高額療養費の増額。

### ◆介護保険特別会計

224万円増額

税制改正に伴うシステム改修費用の増額。

### ◆上水道事業会計

#### ◎収益的収入

32万円減額

簡易水道事業及び下水道使用料徴収収納業務委託料の確定見込みによる減額。

#### ◎収益的支出

270万円減額

固定資産除却費や企業債償還利息の確定による減額。

#### ◎資本的収入

1,548万円減額

布設替工事負担金及び重要給水施設配水管更新事業交付金の確定見込みによる減額。

#### ◎資本的支出

427万円減額

重要給水施設配水管更新事業の確定見込みによる減額。

### ◆簡易水道事業会計

#### ◎収益的収入

86万円減額

一般会計負担金の減額。

#### ◎収益的支出

166万円増額

山岡簡易水道施設の漏水修

## 条例の制定

### ◆棚倉町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例

こども誰でも通園制度事業実施に向け、設備及び運営に関する基準を定めるため。

## 条例の全部改正

### ◆棚倉町課設置条例

令和8年度から社会環境の変化や各種施策の着実な推進が図られる体制とするため、課の新設や名称等を変更。

## 条例の一部改正等

### ◆児童福祉法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例

児童福祉法等の一部が改正されたことに伴い、関係する条例の一部を改正するため。

### ◆議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

### ◆棚倉町長等の給与に関する条例の一部を改正する条例

## 契約の締結

### ◆GIGAスクール端末情報機器購入契約締結

町立小・中学校で使用しているタブレット端末を更新するため。

#### ○契約金額

62,938,535円

#### ○契約の相手方

郡山市堤下町13番8号

株式会社エフコム

代表取締役社長 斎藤 正弘

## 陳情

## 陳情

陳情書名	提出者
大規模太陽光発電（メガソーラー）に関する意見書を県に対して提出することを求める陳情	福島県地方自治研究会 会長 吉田 孝司
mRNA ワクチン（レプリコンワクチンを含む）接種事業中止の意見書提出を求める陳情書	宇井 淳
令和8年度棚倉町商工会助成事業費（地域貢献事業）補助金の交付について	棚倉町商工会 会長 村越 誠
令和8年度たなぐら smile フェスタ及び棚倉夏まつり事業補助金の交付について	棚倉町商工会 会長 村越 誠
令和8年度教育予算確保並びに施設等の充実に関する陳情書	棚倉町立学校PTA連絡協議会 会長 塩田 綾子
「院所・事業所の継続とケア労働者が働き続けられる環境整備のため、診療報酬・介護報酬など公定価格の引き上げを求める意見書」の提出について	白河地方労働組合総連合 議長 近藤 芳文
「最低賃金を引き上げやすい環境整備のために、中小企業・小規模事業者支援の拡充を求める意見書」の提出について	白河地方労働組合総連合 議長 近藤 芳文
物価上昇に見合う年金引き上げを求める意見書の提出について	全日本年金者組合福島県本部 執行委員長 佐藤 征司
臓器移植に関わる不正な臓器取引や移植目的の渡航等を防止し、国民が知らずに犯罪に巻き込まれることを防ぐための環境整備等を求める意見書提出の陳情	一般社団法人 中国における臓器移植を考える会 代表 丸山 治章



タブレット端末を活用した授業

### ◆特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

選挙の投票及び開票に従事する、選挙長や投・開票管理者等の報酬の額を引き上げる改正。

### ◆棚倉町火入れに関する条例の一部を改正する条例

気象庁の防災気象情報の名称変更に伴う改正。「異常乾燥注意報」→「乾燥注意報」

### ◆職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

福島県人事委員会の勧告に基づき、期末手当の支給率を0.05引き上げる改正。

### ◆棚倉町一般職員の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例

福島県人事委員会の勧告に基づき、給料月額を引き上げ、期末手当の支給率を0.05引き上げる改正。

# 町政を問う

定例会12月会議では10人の議員が登壇し質問を行いました。  
1人の制限時間は60分、一問一答方式で行われます。  
行政全般について町民の身近な課題や町政発展に係る質問を活発に議論しています。

## 1 割栢 義夫 議員 …… 8ページ

1. 学校統合スケジュールの周知は
2. 高齢者等認知症予防の啓発活動や見守りは

## 2 菊池 忠二 議員 …… 9ページ

1. 田楽橋架け替え工事の予定は
2. 福島県市町村大会の次年度サポート体制は
3. 副町長2人体制の検討は
4. 住民評価制度など町への意識を高める事業は

## 3 佐川 裕一 議員 …… 10ページ

1. 町の医療行政を問う
2. 企業誘致に廃校や空き教室の利用の考えは
3. クマが目撃された場合の対応は

## 4 藤田 智之 議員 …… 11ページ

1. 保育園への運営補助は
2. 訪問介護への支援は
3. 図書館の活用は
4. カスハラへの対応は

## 5 沼野 将美 議員 …… 12ページ

1. 統合後の廃校舎などの利活用は
2. 小・中学校での校外学習の取り組み状況は

## 6 高橋 みゆき 議員 …… 13ページ

1. 防災無線機器の見直しは
2. こども園の設立は
3. 医療的ケア児受け入れの現状と今後は
4. 学校統合により廃校になる学校の利活用は

## 7 小沼 勝弘 議員 …… 14ページ

1. 高野小学校閉校後の施設貸与は
2. 地域コミュニティ弱体化に対する施策は

## 8 薄井 喜一 議員 …… 15ページ

1. テニスの聖地化事業の内容と展開は
2. 学校統合準備委員会での検討状況は

## 9 松本 トク子 議員 …… 16ページ

1. 学校給食費の無償化は
2. 高齢者の安全運転と交通事故防止対策は
3. 町おこしの観点から棚倉構造線の活用は

## 10 大竹 盛栄 議員 …… 17ページ

1. ネーミングライツ活用の考えは
2. 学びの多様化学校棚倉中学校分教室への町の支援は

一般質問の録画配信を行っています。  
ホームページや各議員の二次元コードからも視聴できます。



## 請願

提出された請願については、所管する常任委員会に付託し審議しました。

その結果については、本会議において報告されました。

### ◆地域の医師不足解消を求める請願書

■提出者

福島県民主医療機関連合会

会長 北條 徹

◎審査結果 採択

### ◆米の安定供給等を求める意見書の提出について

■提出者

福島県南農民組合

組合長 大竹 利男

◎審査結果 採択

## 人事案件

固定資産評価審査委員会委員の選任を全会一致で同意しました。



梶 春江さん (流)

## 議員発委

### 棚倉町議会ハラスメント防止条例を制定

議会としての役割を十分発揮するため、お互いに人格を尊重し、相互信頼を深めることを通じて、ハラスメントの防止及び排除に努め、信頼される議会の実現を目指すことを決意し条例を制定しました。



議会ハラスメント防止条例検討特別委員会 大竹委員長

## 定期監査講評

11月25日、議員控室において監査委員、町長・副町長・教育長・各課室局長が出席し、加藤一彦代表監査委員から定期監査の講評が行われました。

公表の内容は、令和7年度の上半期分を対象に、財務に関する事務が適正かつ効率的に処理されているかを主眼とし監査を行いました。予算の執行、財産の管理等について、適正に処理・執行されており、工事などの進捗状況についても定期的に確認されていました。今後も、事務の適正化、効率化に努めながら費用対効果を十分考慮して、町民のニーズに応えられるよう適正な事務執行を願うと報告がありました。

棚倉町監査委員 加藤 一彦  
和知 裕喜



## 12月第1回会議

12月第1回会議は、12月26日に開かれました。

会議では、国からの物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の交付を受け、エネルギーや食料品価格等の物価高騰の影響を受けた生活者への支援として、町民1人につき1万円のたなちゃん応援クーポン券の交付や、児童手当を受給している方に、対象児童1人につき2万円の物価高対応子育て応援手当の支給、さらに、介護・障がい者福祉サービス及び保育事業者等への支援金給付等のため、補正予算の議案が提出され、慎重に審議し、原案のとおり全会一致で可決しました。

## 補正予算

◆一般会計

1億8,565万円増額

### 問 学校統合スケジュールの周知は 答 統合学校に係る基本構想の中で計画

**問** 統合に向けたスケジュールの周知は。

**教育長** 令和14年度の開校に向け基本構想等を策定し、その中で校舎建設等のスケジュールも含め計画する予定。

**問** 統合による環境変化に対して、児童・生徒への精神的ストレス対策は。

**教育長** 統合前に各校の交流を図ること、教育課程編成時に教育活動の内容や実施時期を合わせるなど工夫を重ねていく。

**問** 多様性を認め合える少人数の協働学習が有効であることは立証済みとあるが、統合校の教育方針に反映させる考えは。

**教育長** 少人数指導は山岡・高野小学校で実績があり、有効性は十分理解している。統合の目的は一定規模の学校で心豊かに心身のたくましさや育むことを目指しており、少人数に限らず多様性を認

め合える教育は引き続き実施していく。



高野小学校 (令和8年3月閉校)

**問** 統合後のキャリア教育継承の考えは。

**教育長** 各校でのキャリア教育を一緒にできることが質の向上につながる。義務教育学校により、一体的に資質・能力を育成でき、キャリア教育にとって大きな利点である。

**問** 統合後、棚倉中学校分教室を利用し、多様化学校をつくる考えは。



視聴はこちらから

### 問 高齢者等認知症予防の啓発活動や見守りは 答 見守りや認知症予防の取り組みを進めている

**問** 介護予防プログラムの整備の現状は。

**町長** 民生委員等による見守り活動や各種介護予防事業を実施するなど、見守りや認知症予防の取り組みを進めている。

**問** 若年性認知症の現状把握及び支援策は。

**町長** 若年性認知症の相談はないが、相談があった場合には、県設置の若年性認知症相談窓口を案内し、本人や家族のニーズに合った支援策を検討していく。



割栢 義夫

**問** 難聴者支援の現状と課題は。

**町長** 今年度から実施の高齢者補聴器購入補助事業実績が4件。補助制度の更なる活用が課題であると考え、積極的なPRを行っていく。

**問** 認知症関連各種事業の成果は反映されているのか。

**健康福祉課長** 各種活動等広く行うことにより、早期発見、予防、重症化の防止につながると考えている。

**問** 窓口での難聴者支援は。総務課長 丁寧な対応をしている。



補聴器取り付け

### 問 田楽橋架け替え工事の予定は 答 令和8年度に測量設計を計画

**問** 田楽橋周辺の道路拡幅工事の予定は。

**町長** 田楽橋周辺道路拡幅工事と橋の架け替え工事は令和8年度に測量設計、令和9年度以降に工事着手できるように計画。

**問** 国庫交付金の率は。整備課長 道路拡幅が1/2、橋梁架け替えが5/10。



田楽橋 (昭和32年12月竣工)

**問** 事業の期間は。整備課長 3年を目標にしているが、国庫交付金の配分次第で期間が倍になるのが現状。

**問** 清戸作地内に町が購入した土地の活用計画は。

**町長** 庁内において様々な活用を幅広く検討している。

### 問 福島県市町村大会の次年度サポート体制は 答 サポートはしっかり努めていく

**問** 各種目、今年度の成績は。教育長 軟式野球はベスト16、ソフトボールは優勝した福島市と2回戦で対戦し惜敗。駅伝は町部17位(総合37位)。



市町村大会 棚倉町ソフトボールチーム

**問** 必要十分な予算は確保されているのか。教育長 各競技団体からの要望に基づき確保に努めている。

**問** 次年度に向けたサポート体制は。教育長 大会終了後、次年度に向けて各団体及び各実行委員会と話し合いを設けている。



視聴はこちらから



菊池 忠二

### 問 副町長2人体制の検討は 答 当面は現体制を維持

**問** 副町長の見解は。副町長 非常時の場合は効果的で平時の場合は現体制で対応。

**問** ルネサンス棚倉、統合学校、土地活用などの問題を特命副町長、または女性活躍担当で女性の副町長など棚倉町の魅力に加えては。

**町長** 決定権がばらつかないようコンパクトに現体制で運営していく。

### 問 住民評価制度など町への意識を高める事業は 答 町への愛着・誇りなどを高める施策を展開していく



家庭を支える保育園

**問** 保育園は職員採用や様々な運営等に資金面で苦労があると聞いているが、町として支援の考えは。こども誰でも通園制度の導入の状況は。

**教育長** 町は通常必要な費用を基に算定された、公定価格で運営費を支出。決算において毎年剰余金が出ているため、追加支援の予定はない。

少子化などを踏まえ、情報共有や必要に応じた助言は行っていく。こども誰でも通園制度は来年度実施に向け概ね順調に準備中。

**問** 寿恵園での訪問介護サービスの状況は。

**町長** 町内で訪問介護を提供しているのはJA東西しらかわ1事業所のみ。利用者は月平均35人。白河市の支援策を参考に、近隣市町村と連携して検討したい。訪問介護は在宅生活の柱であり、必要不可欠と考え、訪問介護事業所への上乗せ支援も含め調査研究していく。

**問** 訪問介護への支援は

**答** 事業継続の方法を検討

**問** 高齢者の自宅暮らしを支える、訪問介護サービスの危機的状況と支援の考えは。

**町長** 町内で訪問介護を提供しているのはJA東西しらかわ1事業所のみ。利用者は月平均35人。白河市の支援策を参考に、近隣市町村と連携して検討したい。訪問介護は在宅生活の柱であり、必要不可欠と考え、訪問介護事業所への上乗せ支援も含め調査研究していく。

**問** 図書館の活用は

**答** 魅力ある図書館を作る

**問** これまでの図書館の在り方を見直した運営により、活性化を進めている例があるが、本町での取り組みは。

**教育長** 図書館は見学会やイベントで来館促進に成功し、利用者数もコロナ後に回復。利用者の声を受け、マンガ141冊を新規購入し蔵書を強化した。今後も多様な利用者が集まる場として、マンガに配慮しながら公民館機能も活用

**問** 保育園への運営補助は

**答** 剰余金も出ているので考えていない



視聴はこちらから



ふじ とも ゆき 藤田 智之

**健康福祉課長** 寿恵園は人材確保が困難とのことから、事業効率が悪い等の理由で4月に訪問介護サービスを休止し、廃止方向。

**問** 行政の応援が必要では。

**町長** 再開、維持でできるような方法を考えていきたい。

したい。築城400年展示や「ぬいぐるみお泊まり会」など新企画も実施した。

指定管理者のもと、5人体制と地域おこし協力隊員の司書資格者が学校支援も担当し実績を上げている。

高校生ボランティアがポップ作成や読み聞かせに参加、今後も連携と調査研究で魅力ある図書館作りを進める方針。

**問** 公民館機能での飲食可能なPRが少ないのでは。

**生涯学習課長** 各種活動での飲食は認めているが、PRについては調査研究したい。

**問** カスハラへの対応は

**答** 今後対応マニュアル等を整備



東白川郡の中核病院である塙厚生病院

**問** 町の医療行政を問う

**答** 広域的な医療体制の充実が必要

**問** 妊産婦、高齢者の郡外への通院の配慮の考えは。

**町長** 対象となる妊婦への交通費助成を行っており、また、対象となる高齢者に対し、タクシー・バス利用料金の一部助成を行っている。支援内容等について調査研究していきたい。

**問** 企業誘致に廃校や空き教室の利用の考えは

**答** 検討していきたい

**問** 企業誘致の活動状況及び今後の方針は。

**町長** 企業立地セミナーでのPR及びセミナー後の交渉のほか、上京の際には福島県東京事務所へ訪問し、情報収集などを行うとともに、福島県企業立地課及び一般財団法人日本立地センターなどとも連携しながら用地情報の紹介、また、町内企業訪問などを実施している。

**問** 企業誘致に廃校や空き教室の利用の考えは。

**町長** 町立学校統合に向けた検討事項でもあるため、その後の活用の中の一つの案として、建物の状態なども踏まえながら、検討していきたい。

**問** クマが目撃された場合の対応は

**答** ワナ等による捕獲活動を行う



ツキノワグマ出沒警報チラシ

**問** クマが目撃された場合の対応は。

**町長** 産業振興課及び棚倉町鳥獣被害対策実施隊、棚倉警察署等での巡回パトロールを行うこととしている。

また、状況によっては、追い払い、ワナ等による捕獲活動を行うこととなる。ワナ等に掛かったクマに関しては捕殺する予定。

今後もし引き続き取り組みを強化していきたいと考えている。

**問** 企業誘致におけるホームページの方針は。

**町長** 町の特性などの紹介、棚倉町工場設置奨励金制度の周知のほか、棚倉町データバンク事業に登録された適地物件の情報などの情報発信に努めている。



視聴はこちらから



さ がわ ゆう いち 佐川 裕一

### 問 統合後の廃校舎などの利活用は 答 学校統合準備庁内検討委員会で検討

**問** 廃校となる校舎の取り壊しの計画は。

**教育長** 学校統合準備庁内検討委員会において検討を進めていくので、現在のところ取り壊し等の計画はない。

**問** 取り壊した後の土地の活用の考えは。

**教育長** 土地も含めて、学校統合準備庁内検討委員会において検討していく。

**問** 廃校となっている山岡小学校校舎の利活用は。

**教育長** 統合となる学校と同じく、学校統合準備庁内検討委員会において検討していく。

**問** 東白川郡内の教育長が、旧山岡小学校校舎を石川支援学校の分校等として活用する要望を出していたと思うが、その後の進展は。

**子ども教育課長** 今のところ進展はない。



廃校利用が望まれる旧山岡小学校校舎

展はない。

**問** この先申請は何年まで続けていくのか。

**教育長** 県高校教育課では、第2次高校改編を進めているところであり、それが終り次第、具体的に考えていただけるような雰囲気である。通学する児童・生徒数の推移により検討との回答なので、何年までという見通しは立っていない。

**問** 小・中学校での校外学習の取り組み状況は

**答** 地域の特色を生かした体験的な学習等を実施

**問** 学校が児童・生徒の希望する課外活動の機会を提供する考えは。

**教育長** 学校で行う体験学習等は、授業の一環であり、現在実施されている活動の中でも目的等を確認し、児童・生徒の思いや願いに応じながら進めている。

**問** 町内施設・企業との連携は。

**教育長** 町では、小学5・6年生を対象にチャレキッズを実施。中学2年生においても職場体験を実施している。

**問** ラーケーション制度の導入の考えは。

**教育長** 経済的な事情や保護者の休暇の取得が難しく、公平性に欠けるなどのデメリットもあり、



視聴はこちら



沼野 将実

教育の機会均等の視点から、現在のところ導入する予定はない。

**問** ラーケーション制度の学校統合準備庁内検討委員会での検討は。

**教育長** 検討は必要だと思いが、ラーケーション制度は家庭の責任・計画で行うことにより、本来の効果が期待できる。

※ラーケーション学習と休暇を組み合わせた造語で、子どもが平日に保護者と校外での体験や学びを目的として学校を休める制度



イベントにて工作体験する子ども

### 問 防災無線機器の見直しは

### 答 今年度主要機器の更新工事を実施

**問** 設置された時の費用は。

**住民課長** 整備費用約7億1,600万円。

**問** 町民の方から聞き取りにくい等のフレームは。

**住民課長** 月に4、5件程度。

**問** 今の無線機の仕様では聞き取りにくくて、不便かと思うが。

**町長** 今年度の機器更新により、近年のSNSを活用した情報伝達手段の多様化に対応できるシステムが構築されることから、より確実な情報伝達に努めたいと考えている。



防災行政デジタル無線戸別受信機

**問** こども園の設立は

**答** 現時点では設立する考えはない

**問** 待機児童数の現状は。

**教育長** 現在、待機児童はいない。

**問** こども誰でも通園制度の実施に向けた進捗状況は。

**教育長** 来年度からの実施に向けて、遅滞なく対応できるよう準備を進めていく。

**問** 医療的ケア児受入れの現状と今後は

**答** 順調に園生活を送っている

**問** 現在の保育時間は。

**子ども教育課長** 現在の保育時間は午前8時30分から午後2時30分までと、その後預かり保育があり午後3時30分までとなっている。

**問** 看護師、支援員の人数は。

**子ども教育課長** 看護師1人、支援員1人の体制となっている。

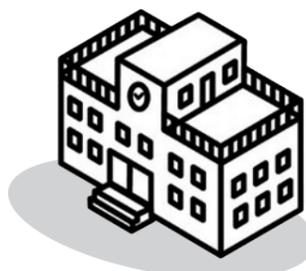


**問** 小・中学校での受入れ体制の整備については。

**町長** 法律で受入れなければならないので、課を挙げて、町を挙げてしっかりと支えていかなければならない。

**問** 学校統合により廃校になる学校の利活用は

**答** 学校統合の状況を整理し、学校統合準備庁内検討委員会等において検討を進めていく



高橋 みゆき

### 問 高野小学校閉校後の施設貸与は 答 体育館及び校庭の開放を検討

**問** 閉校後の空き教室、体育館、校庭の利用申請・手続きに変更点は、  
**教育長** 利用申請書は管理者である教育委員会に提出していただくことになる。

**問** 閉校後の校舎や校庭の維持管理・修繕に対する対応は、  
**教育長** 棚倉中学校分教室の生徒及びサポート教室利用者の学習に支障が出ないよう、維持管理を行う。

**問** 体育館の天井修繕及び照明のLED化工事の進捗状況は、  
**教育長** 落札業者と契約を締結済みであり、令和8年3月9日までの工期を設定している。

**問** 当初は夏休みに工事する予定だったが、工事が遅れた理由は、  
**子ども教育課長** 工事の財源として国庫補助金を活用する予定だったが、予算がつかないことが判明し、財源を国庫補助金から起債に振り替えたためである。



令和8年3月に閉校となる高野小学校

**問** 廃校舎利活用の検討方法は、  
**教育長** 学校統合準備庁内検討委員会において検討していく。

**問** 閉校後に地域コミュニティとして、利活用する考えは、  
**教育長** 町民が集う地域コミュニティやスポーツ活動の場となるよう、体育館及び校庭を解放する考えである。



視聴はこちらから

### 問 地域コミュニティ弱体化に対する施策は 答 各行政区に寄り添い課題解消に取り組む

**問** 行政区加入世帯数の推移は、  
**町長** 令和6年4月1日現在では3,461世帯で、近年減少傾向となっている。

**問** 地域の集会施設に対する修繕補助の現況は、  
**町長** 地域集会施設修繕事業補助金制度では、令和6年度に3行政区に補助している。また、新築、増改築工事では、集会施設等整備事業補助金制度があり、令和元年度が最後である。

**問** 物価高騰や建物の老朽化が進んでいる現状から、補助金交付限度額や対象範囲を見直すべきでは、  
**総務課長** 物価高騰や時代の変化を加味したうえで、補助制度の内容については検討したい。

**問** 物価高騰や建物の老朽化が進んでいる現状から、補助金交付限度額や対象範囲を見直すべきでは、  
**総務課長** 物価高騰や時代の変化を加味したうえで、補助制度の内容については検討したい。



老朽化が進む集会施設



こ ぬま かつ ひろ  
小沼 勝弘

**問** 地域コミュニティ活動の支援及び再生に向けた取り組みは、  
**町長** 集会施設支援のほか、活動用備品等の整備に活用できる自治総合センターのコミュニティ助成事業の申請等を支援している。

**問** 地域コミュニティの強化に対する考えは、  
**町長** 役所、地域、町民の方々と連携をしながら、地域コミュニティの良さをアピールして、次の世代につなげていきたい。

### 問 テニスの聖地化事業の内容と展開は 答 合宿や大会を誘致し情報発信する

**問** 10月末時点における前年度と比較したルネサンス棚倉テニスコートの利用状況は、  
**町長** 令和6年度10月時点では4万3,978人、令和7年度10月末時点では3万5,662人、昨年度より8,316人減である。

**問** 町内テニス人口増加のための施策は、  
**町長** 日本ソフトテニス連盟や大会主催者などの関係団体等と連携を図り、町内テニス人口の増加に努める。

**問** テニスの聖地化事業の今後の展開は、  
**町長** 引き続き合宿や大会を誘致し、更に情報発信に取り組みすることで、ルネサンス棚倉及びテニスパーク棚倉の認知度を高めながら、聖地化に向けた事業を実施していく。



テニスパーク棚倉

### 問 学校統合準備委員会の検討状況は 答 施設一体型義務教育学校とすることに賛同

**問** 棚倉町立学校統合準備委員会での検討状況は、  
**教育長** 今年度3回の準備委員会を開催し、統合学校の校種を、施設一体型義務教育学校とする。ことで委員に賛同していただいた。

**問** 棚倉町立学校統合準備委員会での検討状況は、  
**教育長** 今年度3回の準備委員会を開催し、統合学校の校種を、施設一体型義務教育学校とする。ことで委員に賛同していただいた。



**問** 幼稚園の統合は、  
**教育長** 近津幼稚園は、令和10年度に棚倉幼稚園に統合できるよう準備を進め、社川幼稚園は社川地区の出生者数を見極めながら検討する。

**問** 統合学校の候補地は、  
**教育長** 学校統合準備庁内検討委員会等において検討する。



視聴はこちらから

**問** ルネサンス棚倉敷地、隣接地を候補地として考えられないか、  
**教育長** 統合学校の候補地としては、学校建設に必要な面積が確保できる可能性のある場所、建設が可能であれば候補地として考えられるが、候補地に関する個別・具体的な判断は、学校統合準備庁内検討委員会等で協議する。



統合学校の候補地の一つ



うす い き いち  
薄井 喜一

### 問 学校給食費の無償化は 答 国の動向、支援策に応じて検討

**問** 令和8年4月から国による小学校給食費無償化への対応は。  
**教育長** 国から具体的な支援策が示された際に対応を検討する。

**問** 国の学校給食費無償化一律支援での支援金額は、平均月額4,700円、将来的に中学校への拡大も視野に入れているが、県内で無償化を掲げるのは40市町村となるが、この動きについては。  
**子ども教育課長** 新たに無償化に踏み切るところは、各自治体トップの無償化に対する施策の方向性の背景・要素を基にされているのでは。

**問** 本町は独自に無償化するの  
か。  
**教育長** 町独自の無償化の考えはないが、国の支援策に応じて検討していく。

**問** 小学校が無償化になった場合、幼稚園と中学校を無償化とする

る考えはあるか。  
**子ども教育課長** 国で小学校について無償化するということなどで、国の動向を注視していく。



棚倉町学校給食センター

**問** 高齢者の安全運転と交通事故防止対策は  
**答** 県内他町村の取組事例を調査研究していく

**問** 高齢者が安全運転支援装置を設置する場合に、補助金を交付している県内市町村数は。



視聴はこちらから

**町長** 福島県警察本部の令和7年度高齢者安全運転支援装置事業施策一覧によると10町村。

**問** 実施市町村の支援対象年齢と支援内容は。  
**町長** 支援対象年齢は多くの自治体が65歳以上。安全運転装置を設置した費用の5割から9割を補助対象割合とし、2万円から5万円を上限として補助金が交付されている。

**問** 高齢者安全運転支援装置設置に対する補助金制度創設の考えは。  
**町長** 制度創設の考えはないが、同装置は高齢運転者の交通事故防止に有効であると認識している。

**問** 町おこしの観点から棚倉構造線の活用は  
**答** 棚倉町活性化・観光物産協会と連携しPRしていく



久慈川にみられる破碎帯の一部



まつもと トク子

**問** 棚倉構造線への関心や学術的位置をどう活用し、取り組むか。  
**町長** 棚倉の冠がつく棚倉構造線、いわゆる棚倉断層帯は重要な地域資源であり、学術的にも貴重な価値があるものと理解している。「たなぐらブランド」のデザインは棚倉断層帯をモチーフとしており、今後町が誇る地域資源の一つとなるよう町内外に一層PRしていく。

### 問 ネーミングライツ活用の考えは 答 財源確保の選択肢の一つと認識

**問** 総合体育館エアコン設置に有利な補助金の目算はあるのか。  
**教育長** 県の担当部局から情報を集め、有利な補助金について調査研究している状況。

**問** ふるさと納税、公共施設整備・修繕基金等の活用の考えは。  
**教育長** 関係課と協議し、必要に応じて検討する。

**問** 約40億円の基金があり、今年度の当初予算では、3億9,400万円が基金から繰り入れられている。有利な補助金が見つからなかった時には基金から繰り入れ、事業展開する考えは。  
**町長** 財政規律を守らなければならぬ部分もあるし、3年間の実施計画のバランスも考えなければならぬので、有利な補助金を第一優先にする。



棚倉町総合体育館

**問** ネーミングライツの活用は。  
**教育長** 施設の有効活用や新たな財源確保の選択肢と認識している。

**問** ネーミングライツ条例だけでなく制定する考えは。  
**生涯学習課長** メリット・デメリットについて調査研究する。  
※ネーミングライツは公共施設の命名権で、施設の名前に企業名を付けることができる。

**問** 学びの多様化学校棚倉中学校分教室への町の支援は  
**答** 必要に応じ支援していく

**問** 分教室の現在及び次年度の教員体制は。  
**教育長** 現在は常勤2人、県費負担及び町費負担の非常勤講師が各1人、本校と兼務する養護教諭、また高野小学校校長、教頭、事務職員、さらに子どもサポート教室所属の学校教育相談員3人の体制となっている。

次年度は県教育委員会に対し教員配置について要望。

**問** 県教育委員会への教員配置の要望の状況は。  
**教育長** 県内唯一の学びの多様化学校なので、引き続き教員配置について強く要望していく。



視聴はこちらから



おお たけ もり えい 大竹 盛栄

**問** ごみ集積所の整備に関する補助金制度とは  
**答** 整備に要する費用の一部について補助する制度

**問** 補助金創設の目的は。  
**町長** ごみ集積所の適正な管理と地域環境美化を促進するため。

**問** 補助事業の内容は。  
**町長** 詳細な内容や補助率、補助金額については現在検討している状況。



ごみ集積所

# 議員活動報告

## 建設経済常任委員会

11月11日にルネサンス棚倉の「経営状況及び施設の老朽化について」を議題とし、所管事務調査を行いました。ルネサンス棚倉施設内の現地調査をはじめ、産業振興課長及び支配人から説明を受けました。



## 厚生文教常任委員会

11月18日に厚生文教常任委員会主催により、「児童養護施設 堀川愛生園の運営状況について」を議題とし、堀川愛生園理事長 影山和輝氏を講師に研修会を行いました。

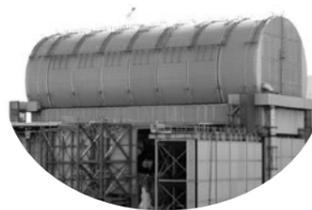


1月20日に厚生文教常任委員会主催による、大熊町立義務教育学校 学び舎ゆめの森の視察研修を行いました。  
ゆめの森は全国でも珍しい、認定こども園と義務教育学校の子どもが共に学ぶシームレス教育を取り入れ、校舎は特徴的な形の11のエリアによって構成されました。  
志賀教頭から学び舎ゆめの森の概要説明を受け、授業の様子及び校舎内を見学しました。



## 東京電力福島第二原子力発電所視察研修

1月14日に東京電力福島第一原子力発電所の廃炉作業進捗状況確認のため、視察研修を行いました。  
始めに、廃炉資料館において、事故の経過を映像で振り返り、廃炉作業の現状など東京電力の社員から説明を受けました。  
その後、福島第一原子力発電所構内をバスに乗車しながら、間近で原子炉建屋の状況や汚染水海洋放出までの処理工程などの説明を受け、廃炉作業の最前線の現場を確認しました。



## 学校給食試食

11月18日に高学年と同じ量の学校給食を試食し、美味しくいただきました。



# 言わせて一言

人を・心を・時をつなぐたなぐらまちに

住む皆様にご意見、ご感想を伺いました。

町裏にお住まいの  
和知 宏行さん



私が子どもの頃、楽しみだったことを思い出してみました。春は花見でした。花より団子で楽しかった。夏は町民プールで一日中遊んでいました。プールの後はお腹が減るんですね。秋は秋祭りですね。太鼓叩いて、山車を引いている時は、頑張るゾと自分に鼓舞しながら疲れるまで引く張り、休憩のおやつが楽しみでした。冬は土手でソリ滑り、ダンボールソリで体中ピチピチになりながら遊んでいました。

今思えば私が子どもの頃は親といえることが少なかったように思います。親に送り迎えなんて幼稚園までしか覚えがありません。今の子ども達の楽しみは何なんだろうか、おじさんにはわからない。ただ子ども達の参加しやすい、季節の行事や施設は必要なのではないかと思えます。棚倉町民（大人の力）で子ども達を見守りたいですね。

議員の皆様へ、日頃から町への尽力に感謝します。総理の言葉を借りて、働いて、働いて、働いてください。応援しています。

岡田にお住まいの  
大塚 勇也さん



私は、塗装業をしながら駅伝の監督や音楽活動をしています。色々な方向から棚倉町に携わっていますが、もっと活気のある町になるのではないかと思います。

活気溢れる町にする取り組みとして、イベントの回数を増やすだけでなく、歌のステージがあるとより多くの人に楽しんでもらえると思います。音楽を通して会場の雰囲気が出るくなり、足を運びたいと思う人も増えるのではないのでしょうか。

また、スポーツ面でも人と人を繋ぐ力があります。年齢や住んでいる場所が違っても、同じスポーツをすることで、心が通じ合えます。

大会開催により、宿泊施設や飲食店、交通機関の利用が増え、地域全体が活性化し、イベントを通じて地域の魅力が発信されることで、観光客の増加にも繋がると思っています。

微力ではありますが、これから進化していく棚倉町に貢献できるよう私自身も精進していきます。今後の議会にも期待しております。

## 議会を傍聴しませんか



傍聴の手続きは役場庁舎3階の傍聴席入口で住所と名前を書くだけで、どなたでも傍聴できます。

**定例会3月会議日程のお知らせ** (予定) ※正式日程は、2月下旬開催予定の議会運営委員会にて協議されます。

- 3月5日(木)・6日(金)・12日(木) 本会議
- 9日(月)・10日(火) 一般質問
- 11日(水)・12日(木) 予算特別委員会

私たちが  
議会だよりを  
担当します



### 広報編集常任委員会

- 委員長 割栢 義夫
- 副委員長 松本 トク子
- 委員 小沼 勝弘
- 委員 薄井 喜一
- 委員 佐藤 喜一